



川越市立霞ヶ関小学校

創立121年

# 令和5年度学校経営グランドデザイン

## 学校教育目標

心豊かでたくましい子の育成

**かしこい子(知) すこやかな子(体) みりょくある子(徳)**

### <目指す学校像>

人(児童、保護者・地域、教職員)を大切にし、笑顔あふれる学校

### <重点目標>

- ①「学校大好き」と言える子を育成する。
- ②あいさつができ、心豊かで規範意識を持った子を育成する。
- ③目標を持たせ、わかる喜び、できる楽しさを味わう授業を実践する。
- ④小中連携・霞ヶ関5校の連携、保護者・地域との連携を深化させる。
- ⑤学校力向上のための組織運営と意識改革をする。

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
国・県の施策  
川越市教育振興基本計画

- ・ 学校評価
- ・ 学校生活アンケート
- ・ 学校運営協議会
- ・ 地域会議
- ・ おやじの会
- ・ 学校開放運営委員会
- ・ サポート委員会

(1)児童一人一人を大切に  
し、児童の笑顔があふれる  
学校づくり  
(学習、生活の充実)

(2)児童一人一人を大切に  
し、児童の笑顔があふれる  
学校づくり  
(児童の居場所作り)

(3)児童一人一人を大切に  
し、児童の笑顔があふれる  
学校づくり  
(特別支援教育の充実)

(4)保護者・地域を大切に  
し、保護者・地域の笑顔があふ  
れる学校づくり  
(開かれた学校づくり)

(5)教職員を大切に  
し、教職員の笑顔があふれる学校づ  
くり。(組織対応の充実・  
働き方改革の推進)

- ①教育課程の確実な実施と学力向上(川越市学力向上プラン)
- ②日々の授業の充実(Kasumi Styleの深化・充実、授業改善)
- ③基礎学力の定着(教育課程改革、家庭学習の定着)
- ④個別指導の充実(TT・少人数指導の推進。校内通級の確立、大学生の活用)
- ⑤保健指導の充実(基本的な生活習慣の確立。歯科治療率の向上。早寝、早起き、朝ご飯、朝うんちの推奨・性教育・がん教育、いのちの教育)
- ⑥教科担任制の実施(高い専門性を生かして系統的に)
- ⑦ICT活用能力の育成(学習用PCの効果的活用と実践)
- ⑧防災教育の充実(霞5校連携)

- ①いじめのない学級作り(いじめアンケート、児童把握、児童に寄り添った指導)
- ②居場所がある学級作り(学級活動の充実、温かい人間関係作り、児童会活動、校内個別学習室の運営)
- ③教育相談の充実(個人面談、月一度の相談日の活用、SC・SSW等の活用)
- ④規律ある学校生活の確立(あいさつ運動の実施、黙働清掃の実施等)
- ⑤道徳教育、人権教育の推進
- ⑥安心して安全な教育環境の整備
- ⑦関係機関との連携(警察・児童相談所・子ども家庭課・支援センター等)

- ①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた指導、支援の推進(すべての児童を大切に)
- ②困り感のある児童の理解と支援、通級指導教室の有機的な活用(発達情緒、難聴言語通級指導)
- ③特別支援教育コーディネーターの活用推進、交流学級の充実。(自情学級児童の親学級への交流推進)
- ④特別支援教育にかかる研修(理解と実践)と校内指導体制の充実
- ⑤インクルーシブ教育の推進
- ⑥外部機関、医療機関との連携

- ①家庭・地域への学校教育活動の積極的な発信(学校便り、HP)
- ②学校運営協議会の導入、充実(保護者や地域の意見を、学校運営に反映させ入りよい学校づくり)
- ③幼保小中、校種間連携のさらなる推進(連携からのステップアップ)
- ④PTA活動へ教職員の積極的参加(PTA文化活動、一人一役、バザー等)
- ⑤子どもサポートの活用と充実(地域人材による学習支援、環境整備の効果的活用)
- ⑥おやじの会との連携(各行事での活用及び情報交換)

- ①チームカスミによる組織対応(共通理解、共通行動)
- ②「お互いさま」学年ブロックの協力的体制構築
- ③OJT推進と校内学校研究の充実による資質・能力の向上(若手教職員の人材育成)
- ④報告・連絡・相談の徹底(情報の共有化、対応の組織化、指導の一本化)
- ⑤分掌組織の関わりの強化
- ⑥教職員の負担軽減(時間外在校等時間の縮減、業務内容の削減)
- ⑦ICT活用による業務削減(教材の電子化、校務支援システム運用)
- ⑧教科担任制推進加配の活用(持ちコマ数軽減)
- ⑨会計システムの改革(学年会計等のキャッシュレスシステムの実施・定着)